

INFORMATION

プラネタリウム

今夜の星空／遙かなる宇宙

果たして宇宙人は、いるのか。ETを追い求める科学者たちの姿を描きます。前半は今夜の星空をライブでご案内します。

平日	17:30
土曜	11:30 14:30 17:30
日祝日	11:30 14:30

全天周映画

フライヤーズ～飛べ大空へ

アクロバット飛行のスタントマンの冒険。大迫力の大型ドーム映像は、本当に空を飛んでいるような臨場感です。

平日	16:00 19:00
土日祝	10:00 13:00 16:00

1/24, 2/28, 3/28(日)の10時の回は天文教室のため、ご利用になれません。

MUSIC PLANET

ミュージック・プラネット

土曜の夜だけの特別プログラム。最新鋭プラネタリウムによる満天の星空と心地良いサウンド、そして宇宙の話題が織りなすファンタジックなひとときをお楽しみください。

土曜	19:00
1月9日、16日、23日	
2月6日、13日、20日	
3月6日、13日 (いずれも土)	に放映。

■料金 (入館料を含みます)

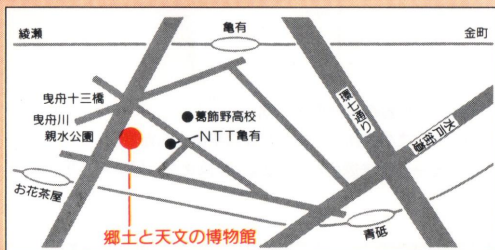
大人400円／小・中学生150円／幼児50円

■休館日

月曜日 (祝日は開館) / 第2・4火曜日
3月2日(火)～5日(金)のプラネタリウム・
全天周映画は番組入替のため休演。

■上映15分前までにこ来館ください。

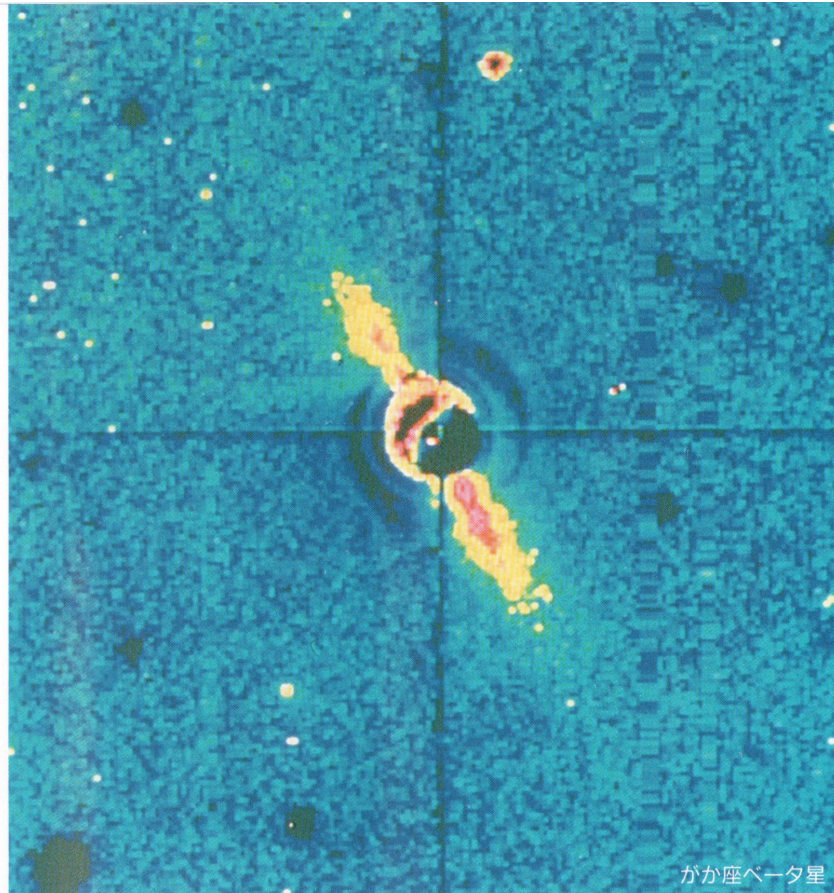
交通のご案内



- 京成線 [お花茶屋] 駅から8分
- JR常磐線 [亀有] 駅から25分
- 京成バス (新小53亀有ー新小岩) [博物館前] 下車すぐ
- 駐車場に限りがございます。電車・バスをご利用ください。



葛飾区郷土と天文の博物館
〒125 東京都葛飾区白鳥3-25-1
TEL 03(3838)1101

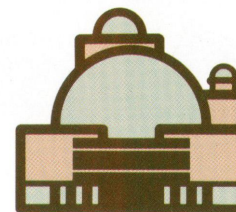


がが座ベータ星

PLANETARIUM

今夜の星空／遙かなる宇宙～未知の生命を求めて～

Vol. 7 1993・冬



KATSUSHIKA CITY MUSEUM

1993年・冬の星空より

火星、ふたご座に舞う。



■天に昇った双子

冬の空高く、二つの星が寄り添うように輝いていたら、それはふたご座のカストルとポルックス。ギリシャ神話に登場する双子の兄弟の名前がつけられている。

神話では、兄のカストルは人間の子、弟のポルックスは神の血をひき不死身だった。しかし、兄が世を去った時、ポルックスは大神ゼウスに自分の不死身を解くようお願い出た。弟の兄を思う心に感じ入ったゼウスは、二人を空に上げて一つの星座にしたという。

兄の頭に輝くカストルは、1つの星ではない。望遠鏡では3つの星に分れ、さらにその

それぞれが連星を作っている、珍しい6重連星なのだ。

■火星が接近中！

今年の冬は、ふたご座の中にひときわ明るく赤い星が輝いている。1月3日、二年カ月ぶりに地球最接近を迎えた火星だ。しばらくの間、カストルやポルックスをしのぐほどの明るさが続く。

今回は小接近なので望遠鏡での観測には適さないが、接近前後、ふたご座の星々を背景に、大きなループを描いてゆく様子を見ることができよう。

未知の生命を求めて

この宇宙の中で、生命が存在している星は地球のほかにあるのでしょうか。銀河系には約2000億個もの恒星があります。これらの星をめぐる惑星の中には、地球のような星もあるかも知れません。

フランク・ドレイク博士は、銀河系で生命が存在する確率をこんな式にあらわしました。

$$N = N_s \times f_p \times n_e \times f_o \times L / G$$

N : 銀河系の中で知的生命を持つ惑星の数

N_s : 銀河系の恒星の数

f_p : 銀河系の中で惑星系を持っている確率

n_e : その惑星系の中で生命が誕生する確率

f_o : その惑星の中で生命が誕生し、電波を使う文明に進化するまでの確率

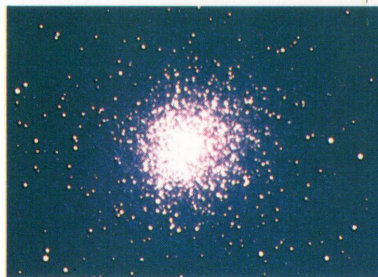
L : その文明が存続する確率

G : 恒星の寿命

このドレイクの方程式の本当の答えはまだ誰にもわかりません。 N_s 以外の正確な値は、現在のところ決めようがないからです。

もし宇宙人がいるのなら、私たちに向けてメッセージを送っているかも知れません。宇宙人からの電波を受信しようとする試みを SETI (セチ・Search for Extra-Terrestrial Intelligence) といいます。

最初の SETI は、1960年にドレイク博士が行ったオズマ計画です。この計画では、太陽に似たくじら座のタウ星、エリダヌス座のイプシロシ星からの電波を観測しましたが、残念ながら宇宙人からの信号らしきものは受信できませんでした。



しかし、NASAでは1992年10月より、10年にもわたる大がかりな SETI を始めています。今度こそ、宇宙人と交信することができる日がくるかも知れません。

ヘルクス座の球状星団「M13」。
1974年、この星団に、私たちが宇宙人へ宛てたメッセージが送信されている。(写真提供：日本天文学会)

■もっと詳しく知りたい方は、こんな本を読んでみてはどうだろうか。

- ・銀河宇宙オデッセイ④ET・宇宙人との交信 日本放送出版協会
- ・第二の地球はあるか？ 磯部瑠三 講談社ブルーバックス